



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場会社名 株式会社 郷鉄工所 上場取引所 東・名  
 コード番号 6397 URL http://www.gohiron.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 隆雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 若山 浩人 (TEL) 052(586)1123  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	1,646	—	△73	—	△89	—	△100	—
26年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △95百万円(—%) 26年3月期第2四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△8.33	—
26年3月期第2四半期	—	—

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	4,983	157	3.2
26年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 157百万円 26年3月期 —百万円

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成26年3月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期の期末配当予想額は未定です。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,634	—	99	—	72	—	70	—	5.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成27年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(注) 特定子会社の異動には該当いたしません。が、株式会社郷イノベーションを第1四半期より連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

27年3月期2Q	12,127,500株	26年3月期	12,127,500株
27年3月期2Q	18,665株	26年3月期	18,062株
27年3月期2Q	12,108,970株	26年3月期2Q	12,109,734株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動が残るものの、その影響も次第に薄れ、各種政策の効果等もあり、景気は緩やかに回復してまいりました。先行きにつきましては、緩やかな回復基調が続くことが期待されますが、駆け込み需要の反動の長期化や海外景気の下振れが、引き続きわが国の景気を下押しするリスクも存在することに留意する必要があると思われまます。当業界におきましては公共投資、民間設備投資は低調に推移し、厳しい状況にありました。

当社におきましては、積極的な営業活動を展開し、受注拡大に努めました結果、当第2四半期連結累計期間における業績は受注高は29億7,685万円、売上高は16億4,696万円、受注残高は22億1,177万円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

破砕粉砕機事業におきましては、破砕機製品が増加いたしましたして、売上が9,695万円となりました。橋梁鉄構及び水処理装置事業におきましては、橋梁工事・水処理工事関係が減少いたしましたして、売上が1億4,927万円となりました。環境装置事業におきましては、環境整備用機器等が減少いたしましたして、売上が2億1,653万円となりました。ライニング製品事業におきましては、シートライニング容器・ライニング鋼管が共に減少いたしましたして、売上が4億8,885万円となりました。役務収益事業におきましては、前事業年度でゴルフ練習場事業を廃止しましたので、売上が5,090万円となりました。その他の機械事業におきましては、ダクト設備が増加いたしましたして、売上が2億4,265万円となりました。その他事業におきましては、他社製品取扱が増加いたしましたして、売上が4億179万円となりました。

当第2四半期連結累計期間は、需要の低迷が続くなか業績の回復に努力いたしましたが、利益につきましては、営業損失7,327万円、経常損失8,902万円、四半期純損失1億87万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当社は、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

## ①財政状態

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、49億8,323万円となりました。主な内訳は、現金及び預金9億6,423万円、受取手形及び売掛金11億5,890万円、たな卸資産8億5,346万円、有形固定資産16億4,225万円であります。負債は、48億2,569万円となりました。主な内訳は、支払手形及び買掛金10億4,332万円、短期借入金(1年内返済予定の長期借入金含む)23億634万円、長期借入金4億8,438万円であります。純資産は、1億5,754万円となりました。主な内訳は、資本金6億637万円、利益剰余金△4億6,598万円であります。

## ②キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、1億3,378万円となりました。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、1億5,292万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純損失9,983万円、貸倒引当金の減少額3,962万円、たな卸資産の増加額9,119万円、仕入債務の減少額1億1,424万円、未払消費税等の減少額3,656万円があったものの、売上債権の減少額5億2,225万円があったためによるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、3,420万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得3,368万円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、2億8,381万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入1億円があったものの、長期借入金の返済3億7,541万円があったためによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期連結会計期間及び第1四半期連結累計期間より四半期連結財務書表を作成しております。

平成27年3月期の業績予想につきましては、現時点においては平成26年5月15日発表の予想より変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当いたしません。第1四半期連結累計期間において、温浴施設・飲食店・旅館等の経営及びコンサルティングを行う子会社の株式会社郷イノベーションを設立し、新規連結いたしました。

この結果、当社グループは当社及び連結子会社1社によって構成されることとなり、事業の内容も温浴飲食事業が追加されることとなりますが、当該事業のうち、飲食事業は10月20日より事業開始、温浴事業は開始時期が未定であるため、売上高はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成26年9月30日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	964,235
受取手形及び売掛金	1,158,908
商品及び製品	98,092
仕掛品	377,641
原材料及び貯蔵品	377,729
その他	92,777
貸倒引当金	△22,812
流動資産合計	3,046,572
固定資産	
有形固定資産	
建物(純額)	651,829
土地	653,759
その他(純額)	336,661
有形固定資産合計	1,642,250
無形固定資産	20,211
投資その他の資産	274,202
固定資産合計	1,936,664
資産合計	4,983,236

(単位:千円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成26年9月30日)

<b>負債の部</b>	
流動負債	
支払手形及び買掛金	1,043,326
短期借入金	2,306,344
未払法人税等	1,998
賞与引当金	24,807
工事損失引当金	18,805
その他	384,662
<b>流動負債合計</b>	<b>3,779,944</b>
固定負債	
社債	84,300
長期借入金	484,380
退職給付に係る負債	90,526
資産除去債務	55,145
その他	331,398
<b>固定負債合計</b>	<b>1,045,750</b>
<b>負債合計</b>	<b>4,825,695</b>
<b>純資産の部</b>	
株主資本	
資本金	606,375
資本剰余金	1,352
利益剰余金	△465,982
自己株式	△2,047
<b>株主資本合計</b>	<b>139,696</b>
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	17,578
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>17,578</b>
少数株主持分	266
<b>純資産合計</b>	<b>157,541</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>4,983,236</b>



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,646,968
売上原価	1,417,216
売上総利益	229,752
販売費及び一般管理費	303,030
営業損失(△)	△73,278
営業外収益	
受取利息	106
受取配当金	779
業務受託料	1,666
作業くず売却益	2,882
その他	1,402
営業外収益合計	6,838
営業外費用	
支払利息	20,750
その他	1,830
営業外費用合計	22,580
経常損失(△)	△89,020
特別損失	
固定資産除却損	116
固定資産撤去費用	10,700
特別損失合計	10,816
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,836
法人税、住民税及び事業税	1,074
法人税等合計	1,074
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△100,911
少数株主損失(△)	△33
四半期純損失(△)	△100,877

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△100,911
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	4,981
その他の包括利益合計	4,981
四半期包括利益	△95,929
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△95,896
少数株主に係る四半期包括利益	△33

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)	
当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△99,836
減価償却費	67,199
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,134
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5,196
工事損失引当金の増減額(△は減少)	1,924
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△39,621
受取利息及び受取配当金	△886
支払利息	20,750
有形固定資産除却損	116
固定資産撤去費用	10,700
売上債権の増減額(△は増加)	522,250
たな卸資産の増減額(△は増加)	△91,191
仕入債務の増減額(△は減少)	△114,242
未収消費税等の増減額(△は増加)	△9,633
未払消費税等の増減額(△は減少)	△36,565
その他	△60,503
小計	174,522
利息及び配当金の受取額	886
利息の支払額	△20,781
法人税等の支払額	△2,063
法人税等の還付額	359
営業活動によるキャッシュ・フロー	152,923
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△33,682
投資有価証券の取得による支出	△26
貸付けによる支出	△1,000
貸付金の回収による収入	500
投資活動によるキャッシュ・フロー	△34,208
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額(△は減少)	30,000
長期借入れによる収入	100,000
長期借入金の返済による支出	△375,418
社債の償還による支出	△19,200
自己株式の取得による支出	△53
少数株主からの払込みによる収入	300
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,926
長期預り保証金の返還による支出	△14,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	△283,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△165,099
現金及び現金同等物の期首残高	298,885
現金及び現金同等物の四半期末残高	133,785

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

重要な資産の担保提供

当社は、金融機関からの安定的な資金を確保するために、平成26年11月4日付けで新規の取引金融機関より借入実行した長期借入金420,000千円に対して、同日付けで当社保有の下記定期預金に対する質権及び有形固定資産に対する根抵当権を設定しております。

1. 担保提供理由

金融機関からの確実な支援体制を継続し、安定的な運転資金を確保するため。

2. 担保提供物件

(平成26年9月30日現在)

定期預金	30,000千円
建物	273,521千円
構築物	1,171千円
土地	23,772千円
合計	328,465千円

3. 担保提供期間

期間の定めはありません。